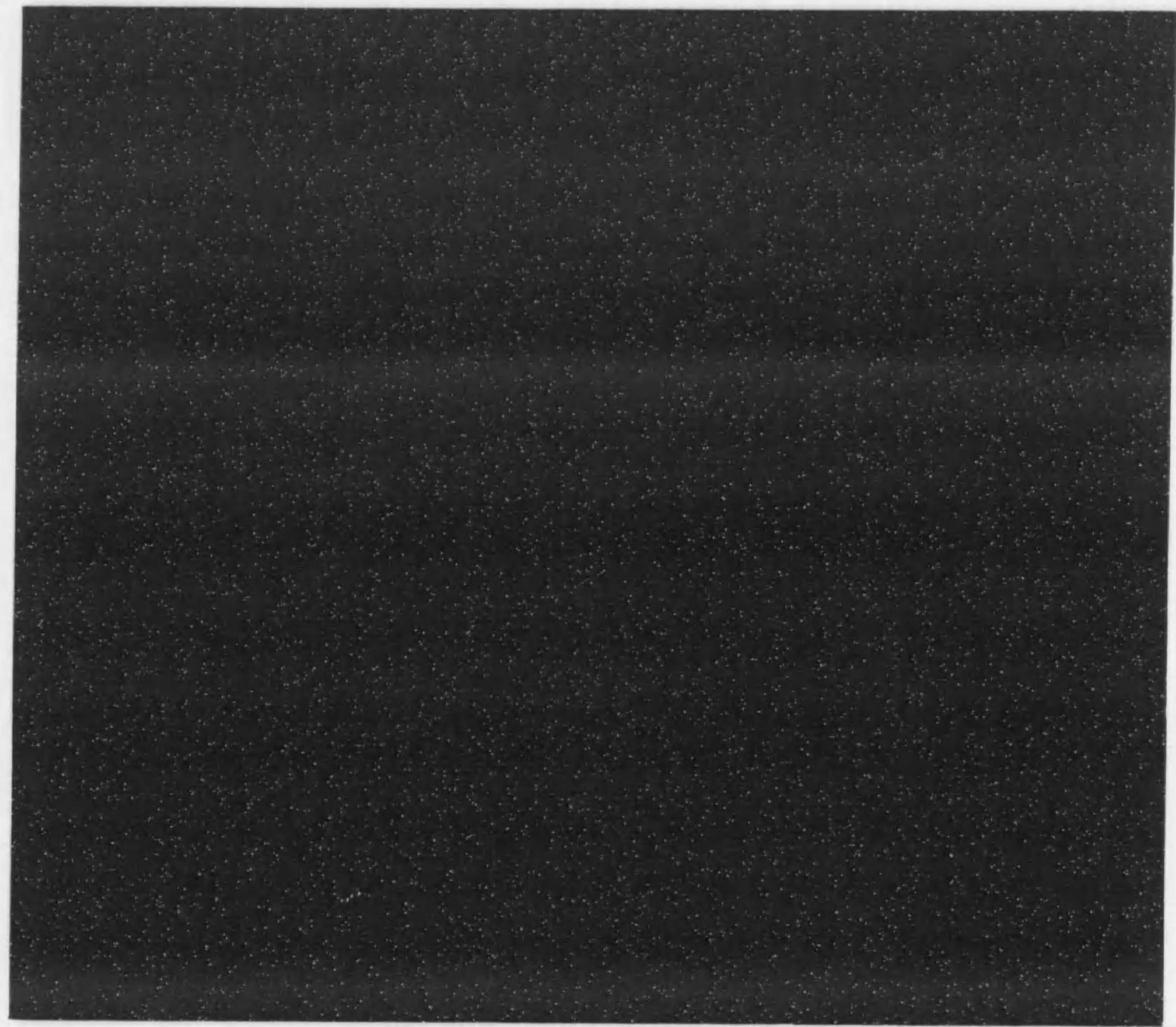




始



大正震笑唱歌
武島又次郎作歌
岡野貞一作曲
国立国会図書館



大正 震災唱歌

宮内省御歌所寄人 武島又次郎作歌
東京音楽学校教授 岡野貞一作曲

国立国会
51.8.18
図書館



行 118

1

大正 震 災 唱 歌

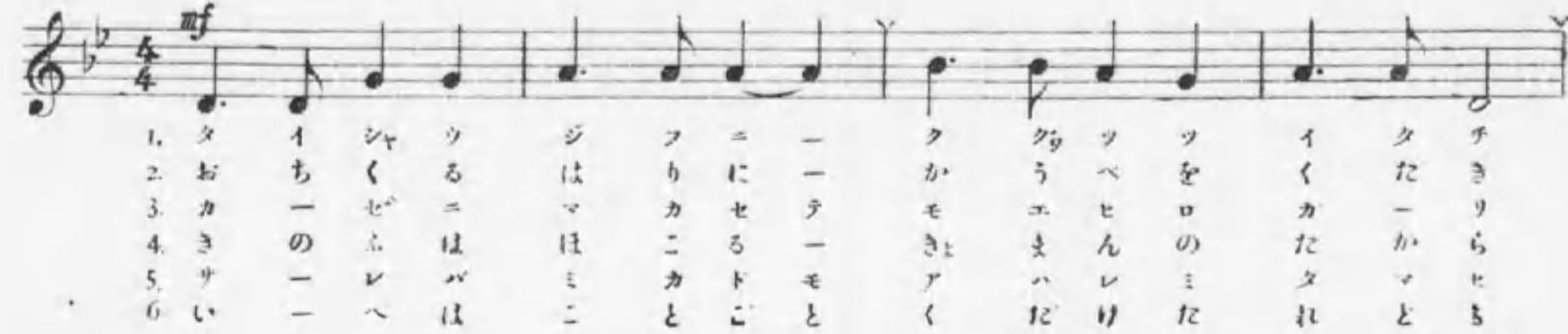
宮内省御歌所寄人
東京音樂學校教授

武島又次郎作歌
岡野貞一作曲

東 京 學 會 發 行

壱 震 災 唱 歌

♩ = 96



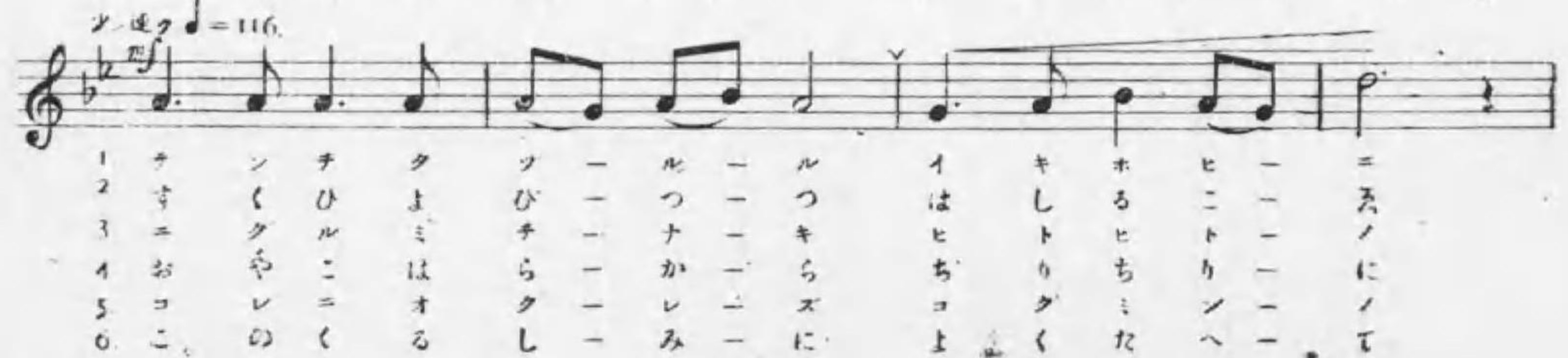
mf

1. タ イ シ ャ ム ジ フ ニ ー ク ク ツ ツ イ タ チ
 2. お ち く る は は は は は は は は は は
 3. か ち せ ん せ ん せ ん せ ん せ ん せ ん せ ん せ ん
 4. き の の の の の の の の の の の の の の の の
 5. さ の の の の の の の の の の の の の の の の
 6. い の の の の の の の の の の の の の の の の



mf

1. ニ ヒヤ ク ト ヲ カ ノ 一 ヤ ク ノ ヒ ル
 2. ま シー ス ノ コ ナ ミ 一 ヤ ク ノ ヒ ル
 3. け シー ス ノ コ ナ ミ 一 ヤ ク ノ ヒ ル
 4. け シー ス ノ コ ナ ミ 一 ヤ ク ノ ヒ ル
 5. け シー ス ノ コ ナ ミ 一 ヤ ク ノ ヒ ル
 6. け シー ス ノ コ ナ ミ 一 ヤ ク ノ ヒ ル

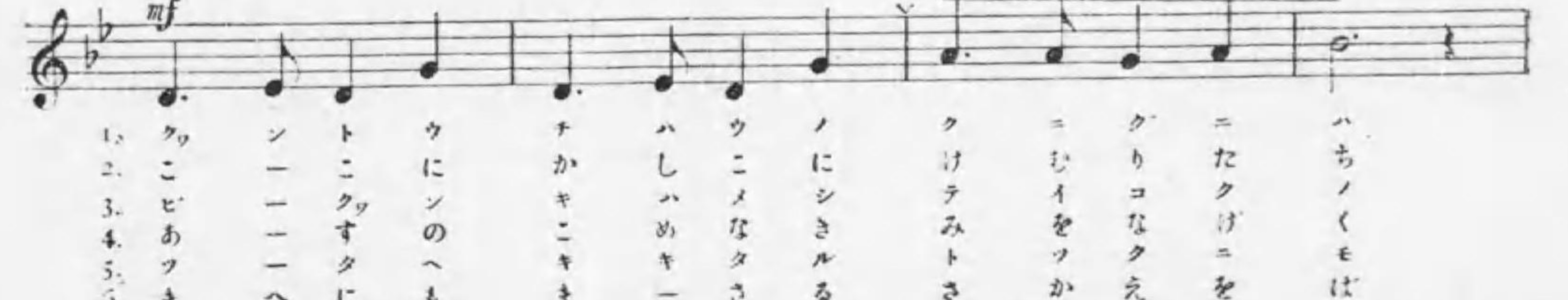


♩ = 116

1. ナ シ ク チ タ ツ 一 ル 一 イ キ ホ ヒ 一 ニ
 2. ナ シ ク チ タ ツ 一 ル 一 イ キ ホ ヒ 一 ニ
 3. ナ シ ク チ タ ツ 一 ル 一 イ キ ホ ヒ 一 ニ
 4. ナ シ ク チ タ ツ 一 ル 一 イ キ ホ ヒ 一 ニ
 5. ナ シ ク チ タ ツ 一 ル 一 イ キ ホ ヒ 一 ニ
 6. ナ シ ク チ タ ツ 一 ル 一 イ キ ホ ヒ 一 ニ

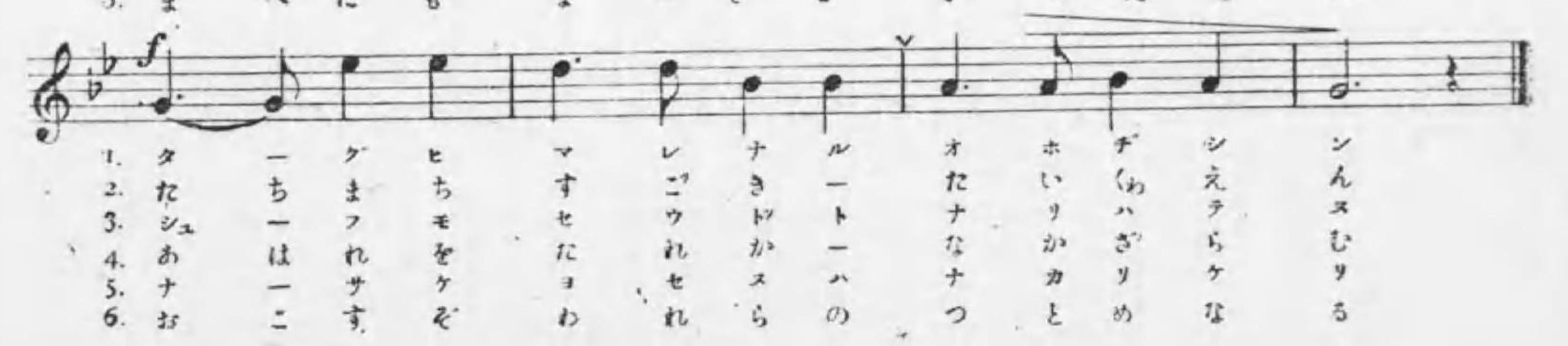


1. カ ラ ガ ラ カ ラ ト ー チ ハ ハ エ レ テ
 2. い と お ろ カ し し ス ー ス ム ハ の エ レ テ
 3. シ ョ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ ャ
 4. つ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ
 5. タ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ シ
 6. ふ た た た た た た た た た た た



mf

1. ク シ ト ク ハ ウ ノ ク ニ ク コ ニ ク ハ
 2. こ シ ト ク ハ ウ ノ ク ニ ク コ ニ ク ハ
 3. こ シ ト ク ハ ウ ノ ク ニ ク コ ニ ク ハ
 4. こ シ ト ク ハ ウ ノ ク ニ ク コ ニ ク ハ
 5. こ シ ト ク ハ ウ ノ ク ニ ク コ ニ ク ハ
 6. こ シ ト ク ハ ウ ノ ク ニ ク コ ニ ク ハ



1. タ 一 ゲ ヒ マ レ ナ ル オ ホ チ シ シ シ
 2. た 一 ま ち ち せ せ せ せ せ せ せ せ
 3. シ 一 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
 4. ャ 一 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
 5. お 一 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち
 6. お 一 ち ち ち ち ち ち ち ち ち ち

正大震災唱歌

大正十一年九月朔一日
大正十一年九月朔一日
大正十一年九月朔一日

天の地は勢に
天の地は勢に
天の地は勢に

寄落すち來る海に身をさく
寄落すち來る海に身をさく
寄落すち來る海に身をさく

魔風にまかせて燃え広がる
魔風にまかせて燃え広がる
魔風にまかせて燃え広がる

今日昨日はは誇る巨萬の財寶
今日昨日はは誇る巨萬の財寶
今日昨日はは誇る巨萬の財寶

下されば天皇も憫み給ひ
下されば天皇も憫み給ひ
下されば天皇も憫み給ひ

心家の柱ごとく
心家の柱ごとく
心家の柱ごとく

大震災記

時 大正十二年九月一日午前十一時五十八分
 区 東京、神奈川、千葉、埼玉、静岡、山梨、約百十億圓
 罹災戸數 約百十億圓
 東京 四十二萬戸
 横須賀 二萬四千戸
 横濱 一萬五千戸
 鎌倉 六千戸
 藤澤 五千戸
 小田原 四千戸
 北條 四千戸
 死亡者數 二萬四千餘人
 横濱 二萬四千人
 横須賀 五千五百人
 鎌倉 五百人
 藤澤 五百人
 小田原 五百人
 北條 五百人
 燒失東京大建物 高輪御所、芝離宮、逓信省、農商務省、内務省、大藏省、文部省、英米伊佛の大使館、支那和蘭の公使館、赤十字社、帝國大學、帝國劇場、警視廳、砲兵工廠、大成殿、三越吳服店等
 安政以後の地震表
 六月十五日 安政元年 倒潰流失家屋者 一、五〇〇〇
 東海道大地震 同年十一月四日 死者 六、〇〇〇
 南海道大地震 同月五日 死者 九、〇〇〇
 家死 同月三、〇〇〇
 江戸大地震 同二年十月二〇日 死者 七、〇〇〇
 家死 同月一、〇〇〇
 濱田大地震 明治五年二月六日 死者 一、五〇〇
 家死 同月八、〇〇〇
 熊本地震 同二十二年七月二十日 死者 六、〇〇〇

濃尾大地震 同二十四年十月二日 死者 二〇〇〇
 東京地震 同二十七年六月二十日 死者 八〇、〇〇〇
 庄内大地震 同二十七年十月二日 死者 二六
 三陸大津浪 同二十九年六月十日 死者 九、五三三
 陸羽大地震 同八月三十日 死者 八、〇〇〇
 家死 同月三、〇〇〇
 臺灣嘉義大地震 同三十九年三月十七日 死者 六、一〇九
 家死 同月一、二五八
 江州地震 同四十二年八月十四日 死者 六、七七二
 家死 同月一、四一
 秋田仙北大地震 大正三年三月十五日 死者 九四
 家死 同月一、三三
 關東大地震 同十二年九月一日 死者 六四〇
 家死 同月一、一〇
 江戸の大火（三百日間）に十六回） 約五十萬
 世に傳ふる大は二度目
 大正十二年九月六日新橋南鍋町より出火千住に至る
 同十六年十一月十四日四谷鹽町より出火青山、赤坂、麻布より芝の海邊に至る
 同月二十九日小石川水戸邸より出火本郷、谷中、淺草、本所、深川を焼く

享保二年四月十四日青山久保田町より出火四谷、牛込、小石川、谷中、金杉に至る
 同五年三月二十七日日本橋より出火千住に至る
 同十年十二月十日麹町裏二番町より出火芝海濱に至る
 安永元年十二月廿九日黒行人坂より出火千住大橋に至る（時間不明）
 寛政四年七月二十九日麻布鴻ヶ谷橋より小石川に至る
 文化三年三月四日芝泉岳寺前より出火草三、四日長嶽寺前より出火二百二十七萬長嶽寺前より出火二百二十七萬
 天明二年三月二十七日神田南二丁目河原堀端より出火南北一里東西二地間は堀端に至る南北一里東西二町
 天明九年四月十七日日本橋小田原町より出火南は日本橋北は筋違

門内西は堀端小川町邊まで
 弘化元年正月二十四日青山權田原より出火二本榎高輪に至る十六時間
 同三年十二月十五日小石川より出火本郷湯島京橋築地佃島に至る二十三時間
 安政二年十月二日地震より出火跡長二里十九町幅平均二町餘
 慶應二年十一月九日日本橋元塗物町より出火京橋石川島佃島に及ぶ町數百五十三長二里一町幅七町
 明治以後は二十七年と四十三年と大正二年とに神田及吉原の大火があつた
 東京の焼失小學校 百二十校
 其兒童數 十三萬人

大正十二年十一月十八日印
 大正十二年十一月二十日發
 行 副

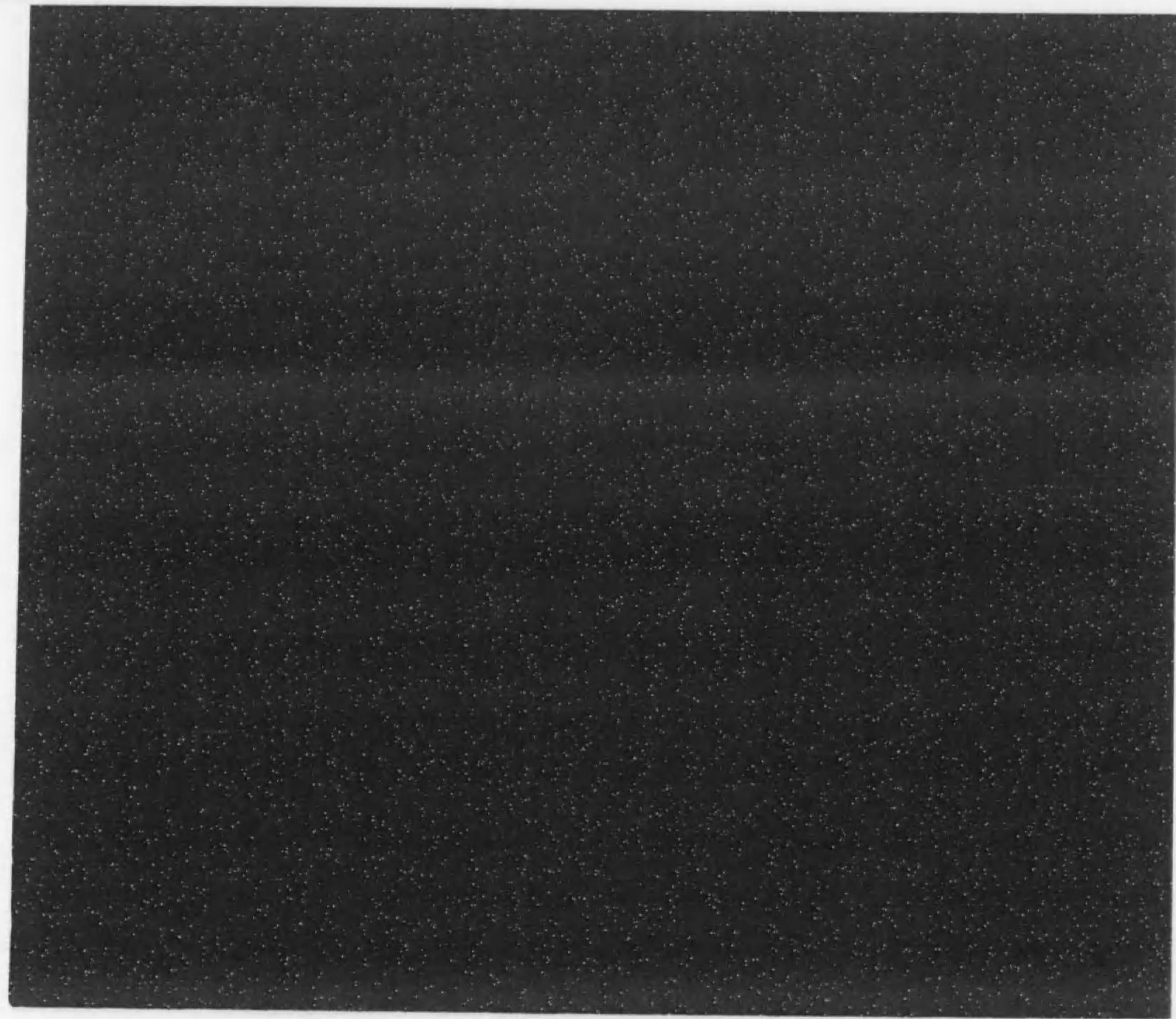
不許複製

定價金拾錢

發行所兼發賣元
 東京市牛込區矢來町廿五番地
 東京學會
 電話牛込二二〇番 振替野三三四四番
 東京市牛込區矢來町四ノ廿六
 南光社
 電話神田一五八八番・振替野三三〇四番

件奉付教師用御入用の方は發行所へ御申越下さい





特118
1

終